

国際バカロレア（PYP：初等教育プログラム）認定決定！

学校法人開智学園 開智望（かいちのぞみ）小学校：つくばみらい市

平成 27 年 4 月に開校した開智望小学校（つくばみらい市）がこのたび「国際バカロレア初等教育プログラム（以下「IBPYP」）」の認定校となりました。

認定日：2018 年 03 月 26 日 <http://www.ibo.org/en/school/052141/>

開智望小学校は、開校当初より IBPYP の教育プログラムを導入、2016 年 3 月からは「候補校」となり、このたびその教育実践が評価され「認定校」として承認されました。このことにより、すでに在籍する児童（2017 年度小 1～小 4）も含め、IBPYP 認定校の卒業生となることができます。

国際バカロレア（IB：International Baccalaureate）とは、国際バカロレア機構（本部ジュネーブ）が提供する国際的な教育プログラムです。1968 年、チャレンジに満ちた総合的な教育プログラムとして、世界の複雑さを理解して、そのことに対処できる生徒を育成し、生徒に対し、未来へ責任ある行動をとるための態度とスキルを身に付けさせるとともに、国際的に通用する大学入学資格（国際バカロレア資格）を与え、大学進学へのルートを確保することを目的として設置されました。現在、認定校に対する共通カリキュラムの作成や、世界共通の国際バカロレア試験、国際バカロレア資格の授与等を実施しています。

我が国において、IBPYP 認定校は主にインターナショナルスクールであり、開智望小学校は学校教育法第 1 条に規定する学校（いわゆる第 1 条校）として国内で 2 校目、茨城県初となり、世界標準の教育プログラムを取り入れながら日本の小学校卒業資格を得ることができます。

政府は 2018 年までに 200 校の高校に IB（DP※2 年間（高 2、高 3）のプログラム）を導入する計画を正式決定していますが、難易度が非常に高く、高校 2 年間のみで一定のスコアを取得することは容易ではありません。開智望小学校は、小学校低学年から日本の学習指導要領を基に、IB の教育を融合させた独自のプログラムを実践し、中学から高校へとその学習法を系統的に深めていくことで、「国際社会に貢献できる、心豊かな、創造力・発信力を持った人材の育成」を目指しています。

IBPYP で特に重要なことは、「教科の学力だけでなく、教科の枠を超えたテーマについて考えることのできる概念的な思考を身につけること」を大きな目的としていることです。近年、詰め込み教育からの脱却が叫ばれ、アクティブラーニングという言葉とともに様々な実践が見られますが、開智学園は 20 年以上前から小・中・高のそれぞれの段階に応じた「探究型の学び」を実践し続けていました。この伝統に加えて、IBPYP 認定校となることで、学びの主演である子どもたちの目線で、真の「主体的」で「対話的」な「深い」学びを実現し、日本従来の「知識詰め込み型教育から脱却」と「本格的なグローバル教育」の実践こそが、100 年経っても変わらなかった日本の教育を大きく変える可能性を秘めていると考えています。

これまでの日本の教育のよさも大切にしつつ（学習指導要領をしっかりとおさえ、基礎・基本を大切に知識力や計算力を身に着ける）、21 世紀に求められる力の育成も視野に入れて（IB のプログラムを取り入れる）、開智学園が取り組んできた探究型の学びを「進化」「深化」させた開智望小学校の「真価」がこれから明らかになっていきます。

お問い合わせ先

学校法人開智学園 開智望小学校

IBPYP コーディネーター 北村 克郎

300-2435 つくばみらい市筒戸字諏訪 3400 番

TEL：0297-38-6000 FAX0297-38-6300

e-mail promotion-kaichinozomi@kaichigakuen.ed.jp